

は し が き

VELC Test[®] (ベルクテスト) から見えてきたこと

私たち VELC 研究会は、VELC Test[®] という日本人大学生の総合的英語熟達度をリスニング面とリーディング面から推定する標準テストを開発し、実施・運営をしているグループです。VELC Test[®] は 2013 年度より全国各地の多くの大学生のみなさんに受験していただいています。

私たちは毎年、大学名や個人名が削除された解答データを分析し、テストの信頼性・妥当性をチェックしつつ、多くの受験者に共通して見られる学力プロファイル（リスニング、リーディングのスキル別の熟達度パターン）を調べています。その中から、日本人大学生にはどのような点で「伸びしろ」があるのか、どのような点を補強すればさらに英語力が伸びるのかについて、次のようなヒントを得ました。

〈リスニング〉

まず単語レベルですが、自己流の発音ではなく英語母語話者の発音イメージで単語を記憶しておくことが大切です。そうでない人は、目を見た場合の語彙力と耳で聞いた場合の語彙力がアンバランスなものになります。

次に目を見た場合の英文と耳で聞いた場合の英文のイメージのギャップを埋めることです。書いてある英文では、単語の切れ目はスペースによってわかり、すべての単語がはっきりとした黒い文字で印刷してあります。しかし、リスニングでは機能語が弱く発音されたり、語と語がつながって発音されたりと、書いてある英文とはかなり異なったイメージになります。そのような現実の音声に慣れておくことが必要なのです。

〈リーディング〉

単語レベルでは何といても語彙のサイズを増やすことが大切です。一瞬見ただけで意味が想起できるようになっている単語を増やしておくことが、リーディング力の基礎となります。

次に文構造を見抜く力です。リスニングに比べて一つの文が長くなる傾向にあるリーディングにおいては文法力が重要になります。なんとなく単語の意味をつなげて文の意味をとろうとせず、主語と述語の対応や、修飾語句の範囲などを常にきちんと押さえながら、厳密に意味をとろうとする姿勢が大切です。

また、文レベルの明示的な意味を理解することに加えて、その理解をもとに文と文のつながりをつかみ、テキスト全体の大意を読み取り、さらに暗示的なニュアンスまでも読み取ることが重要です。

〈リスニング&リーディング〉

最後にどちらにも共通するのは、その時点までに理解した内容から、次の部分を予測しながら進んでゆくという姿勢です。これまでの内容をさらに詳しく説明する内容が来そうか、対立する論点が出されそうか、あるいは話題が転換しそうなのか、などをつねに考えながら聞く、また読む習慣が必要なのです。

このような現状分析を踏まえ、日本人大学生のみなさんが、自分たちの弱点を克服し、総合的な英語力をさらに伸ばしてもらえるレベル別のコースブックを作りたい、という私たちの思いを形にしたのが、この **AMBITIONS** シリーズです。

レベルの設定

この **Pre-intermediate** (準中級) レベルでは、一定レベルの基礎力のある人が、その力をさらに強固なものにすることを目標としています。使用している語彙は、日本人大学生のための標準的な単語リスト『新 JACET8000』の 1,000 ~ 4,000 語レベルで 95%以上をカバーしています。

テーマと英文素材

題材のテーマは「異文化理解」「食」「外国語学習」「スポーツ」「ファッション」「生物」「芸術」「グローバル・イシュー」「日本文化」「人権」「健康・医療」「環境問題」「経済・産業」「法律」「サイエンス&テクノロジー」と多岐にわたっています。現代に生きるみなさんにぜひ知っておいていただきたい事実や問題意識を深めていただきたい事柄を厳選しました。文系のみなさんにも理系のみなさんにも興味をもって取り組んでいただけたらと思います。

素材はすべてネイティブスピーカーが、みなさんに適したレベルの語彙と表現を用いてあらたに書き下ろしました。対話文、エッセイ、ブログ、新聞記事、インタビュー、スピーチと英文ジャンルも多彩であり、オーセンティックな（世の中にある本物の英文の）香りを楽しみながら、さまざまなタイプのリスニングおよびリーディングが体験できます。

ユニットの構成

1つの Unit は **LISTENING PART** と **READING PART** からなっています。さらに詳しくどのような構成になっているかは「使い方のヒント」に述べますが、リスニングに関してもリーディングに関しても単に内容の理解にとどまらず、使われている表現を自分で言う／書いてみる、ならびに題材に対する自分の意見を言う／書いてみるという活動ができる構成となっているのが本書の特長です。積極的にスピーキングとライティングにも取り組むことで、4技能を統合的に伸ばすことができるでしょう。

本書を使うことでみなさんが英語運用能力のみならず、情報を収集し、批判的に考え、自分の考えをまとめて発表する力を伸ばしてくださることが私たちの望みです。

最後になりましたが、英文テキストを作成いただいた、Anthony Allan, Michael Hood, Peter Serafin, Braven Smillie, Mark D. Stafford の5名の先生方に、心より御礼を申し上げます。

著者一同

使い方のヒント

LISTENING PART

Listen In

音声録音されたダイアログ（対話）について、聞き取るべきポイントが質問の形で用意されています。その答えを見つけるつもりで焦点を絞って聞きましょう。なお、音声を聞く際、まずは右ページの **Check the Details** は見ないで聞きましょう。

Check the Points

ダイアログの内容についての3つの質問があり、その答えを選ぶ活動です。**Listen In** でのヒントに関連する内容が問われています。質問は印刷してありませんので、まず正確に聞き取りましょう。

Check the Details

ダイアログの英文が印刷されており、5箇所に空所が設けてあります。もう一度今度はこの英文を見ながらダイアログを聞き、空所に入る語を書き取りましょう。正解を確認したら、最後にもういちど英文を見ずにダイアログ全体を聞き、すべての語句が聞き取れるまで、何度も聞き直しましょう。

Listening Focus + Practice

リスニングに上達するためのヒントが解説してあります。読んで理解した上で、音声を聞き、説明されている現象を確認しましょう。つぎに **Practice** で、ダイアログとは別の英文を用いて、さらに **Listening Focus** について理解を深めましょう。

さらに…

- **Check the Points** の質問と答えを、相手とアイコンタクトをとりながら言えるまで、ペアで練習しましょう。
- **Check the Details** で空所が埋まったスクリプトを見ながら、登場人物になったつもりでペアで読み合う練習をしましょう。最終的には英文を見ずにダイアログがおおよそ再現できるまで何度も練習しましょう。

READING PART

Find Out

メインとなるリーディングの素材です。最初は、知らない単語があったとしても辞書を使わず、おおよその意味を前後の文脈から推測しながら、最後まで読みましょう。難しい語句や固有名詞は **Notes** に説明してありますので参照してください。

次に録音音声を聞きながら英文を目で追う形で読んでください。音声のイントネーションや切れ目が、英文の文法構造のヒントになることもあります。

最後に確認として、知らない単語を辞書で調べながら精読してみましょう。

Check the Points

リーディング素材の内容に関して、リスニングによる空所補充と内容真偽を組み合わせたものです。まず音声を聞いて空所に当てはまる語句を書き取り、その上で、True か False かを判定しましょう。

Reading Focus + Practice

リーディングに上達するためのヒントが解説してあります。よく読んで、*Practice* をやってみましょう。

Practice More

Reading Focus で学習した事項を用いて英文を作り出す練習です。日本語訳を参考にして下線部を完成してください。

Speak Out

リーディング素材のポイントを口頭で言えるようになるための、さまざまな活動が用意してあります。最終的にはテキストから目を離して英語が言えるようになるよう、練習してください。

Say What You Think

リーディング素材に書いてあった事柄について、自分の考えが英語で言えるようになる、また書けるようになるための練習です。3つの英文が準備してありますので、自分の意見と同じ、または、近いならそのまま、違うならば *Some say ... , but I ...* という形で一旦紹介してから否定し、自分の意見を言ってみましょう。

さらに…

- メインのリーディング素材は、意味が分かってからも繰り返し、なるべく早く黙読する練習をしてください（repeated reading と言います）。語彙の認識スピードを速くするよいトレーニングになります。
- **Say What You Think** を用いて、ペアで意見を言い合う形でスピーキング練習をしましょう。また自分の意見をまとめて 50 語～ 100 語くらいで書いてみましょう。

Unit	Theme	Listening Part		Reading Part		Page
		Listening Focus	Reading Focus	Find Out		
1	Cross-Cultural Understanding	強く発音される語を聞き取る	仮の主語を見抜く (It ~ that 構文)	Attention, Please! 文化が変わればおもてなしも変わる? (エッセイ)		2
2	Foods	語順のまま理解する	後ろからの説明を見抜く (後置修飾)	Color and Cost パプリカの色と値段の微妙な関係 (エッセイ)		8
3	Foreign Language Learning	消える t と d を聞き取る	実現の可能性を見抜く (仮定法)	Tips from a Pro! 目から鱗の英語上達法! (インタビュー記事)		14
4	Sports	弱い can を聞き取る	and がつなぐものを見抜く (並列 1)	What's So Super About the Super Bowl? スーパーボウルって何がそんなにスーパーなのか? (エッセイ)		20
5	Fashion	弱い that を聞き取る	but や or がつなぐものを見抜く (並列 2)	The Capsule Wardrobe ファッションなんて時間の無駄? (エッセイ)		26
6	Living Things	n でつながる語句を聞き取る	文脈に合った意味を選ぶ (多義語)	Bones 人類の繁栄を支える屋台骨の正体とは? (エッセイ)		32
7	Art	弱い of を聞き取る	知らない単語の意味を推測する 1	Japan and the World Art Scene 美と美が響き合う不思議 (エッセイ)		38
8	Global Issues	対比による強調を理解する	知らない単語の意味を推測する 2	North-South Divide Information 先進国と途上国, なぜ意見が割れるのか? (Eメール)		44
9	Japanese Culture	話の展開を予測する	代名詞が受けているものを見つける	The Growing Popularity of Japanese Food Overseas 和食が世界で愛される理由 (エッセイ)		50
10	Human Rights	のみこまれる dn を聞き取る	同じことを指している語句を見つける	Ethics Lecture Today's Topic: The Death Penalty 死刑は国家による殺人なのか? (講演録)		56
11	Health & Medical Issues	似た音に注意して聞き取る	文章展開の手がかりを見つける (談話標識)	Is Laughter the Best Medicine? 健康になるため寄席通い, その心は? (インタビュー記事)		62
12	Environmental Issues	強弱のリズムに慣れる	時間軸にそった文章展開を見抜く	Important Events of Global Warming 地球温暖化, いつ, 何が起こってた? (ウェブサイト)		68
13	Economy & Industry	t でつながる語句を聞き取る	比較・対照する文章展開を見抜く	Glen's Employment Blog: Tips on Getting the Best Job! これから生き残るために必要なもの: 就活必勝法 (ブログ)		74
14	Legal Issues	弱い for を聞き取る	原因と結果を表す文章展開を見抜く	US Constitution – Original Intent or Living Document? アメリカ合衆国憲法: 相反する 2 つの立場 (講演録)		80
15	Science & Technology	r でつながる語句を聞き取る	全体の要点を読み取る	Cars That Drive for You 自動運転実用化に残された壁とは? (雑誌記事)		86

Cross-Cultural Understanding

- Listening Focus** ➡ 強く発音される語を聞き取る
 Reading Focus ➡ 仮の主語を見抜く (It ~ that 構文)



LISTENING PART

Listen In

DL 02 CD1-02

特定の事物に関するイメージが、文化によって異なることがあるようです。Lucy と Yoshi が通りを歩きながらしている会話から、何に関するイメージがどう違うのか、聞き取ってみましょう。

Check the Points

DL 03 CD1-03

会話の内容に関する質問を音声で聞き、a. ~ c. から正しい答えを選びましょう。

- a. People crossing the road b. A black cat c. A traffic signal
- a. It will bring good luck. b. It will never die. c. It is dangerous.
- a. It will bring happiness.
 b. It makes a good pet.
 c. It's a symbol of bad luck.

Check the Details

DL 04 CD1-04

もう一度会話を聞き、空所にあてはまる語を書き入れましょう。

Lucy: Yoshi, let's cross the road here.

Yoshi: It's ¹() () (). There's a traffic signal ahead — let's cross there.

Lucy: But there's ²() () () ahead of us. It seems like it's waiting for me and I don't want to walk near it.

Yoshi: Why? In Japan, some people believe if a black cat walks in front of you, you'll ³() () (). Isn't it the same in the US?

Lucy: No. Maybe you're thinking of the UK. In the US, we ⁴() () ().

Yoshi: You mean the black cat would ⁵() () ()?

Lucy: Exactly.

Yoshi: Oh, it doesn't matter now. The cat's gone away.



Listening Focus

DL 05 CD1-05

■ 強く発音される語を聞き取る

英語では、名詞、動詞、形容詞、副詞などの語（内容語）が、はっきりと発音されます。まずは主要な内容語さえ聞き取れば、かなりの程度意味をつかむことができます。

⇨ Yoshi, let's cross the road here. では、

Yoshi, ... cross ... road here. だけで、おおよそ意味がわかります。

また、⇨ There's a traffic signal ahead — let's cross there. では、

... traffic signal ahead ... cross there だけでおおよそ意味がわかります。

リスニングではすべての語が聞こえないことも多いので、まずは強く発音された語からおおよその意味をつかもうとする姿勢が大切です。

Practice

DL 06 CD1-06

次の文を聞き、指定された数の強く読まれている語を書き取りましょう。書き取ったら、録音音声につづけて、強く読まれている語だけを発音してみましょう。

1. (2 語) _____
2. (3 語) _____
3. (3 語) _____

READING PART

Find Out

 DL 07  CD1-07 ~  CD1-11

次のエッセイを読み、設問に答えましょう。

Attention, Please!

One phenomenon of the modern world is the ease with which people can travel from one country to another. This is demonstrated by the increasing
5 number of Japanese students going abroad, and in recent years, the rising number of foreign students coming to Japan. Such exchanges bring various lessons in cultural understanding, and one of them concerns the attention we
10 expect and receive.



Take the example of homestays. It is natural that Japanese students who go on home-stay programs in Western countries expect a lot of care and attention from their host families. However, one common issue arises on the first morning of the home-stay, when the host family can seem “cold.” At breakfast,
15 each family member usually takes what he or she wants to eat. So when a home-stay student is told, “Help yourself to any of the food in the kitchen,” initially it may seem as though the student must look after himself or herself instead of being looked after. Moreover, the student can feel uneasy about taking food from someone else’s cupboard or refrigerator even if permission has been granted.

20 On the other hand, foreign students in Japan can feel uncomfortable during stays with Japanese families; the problem comes from receiving too much attention. The mother, for example, may insist on doing everything to make the student feel comfortable. Of course, it is nice that she is showing the Japanese tradition of *omotenashi*, or hospitality, thinking foreign people always
25 appreciate it, although, in fact, that may not always be true. Receiving such a level of attention, the overseas guest may feel unable to relax and truly enjoy the kindness given by the host.

For either student in a foreign land, the concept of attention can greatly affect their main purpose, which is to study. At school, independent learning is highly valued in Western countries, with teachers expecting students to do most of the work and to ask for help when they feel they need



it. But students whose learning has been dominated by a teacher-led approach may perceive the Western teachers as “lazy,” wondering why they do not give them more attention. On the other hand, foreign students in Japan may wonder why their teachers give them so much attention.

It seems that the expectations and the reality are matters that both sets of students should pay attention to. After all, everyone likes to receive attention from others, but the question is, how much?

Notes

phenomenon 「現象」 **demonstrate** 「示す」 **exchanges** 「交流」 **lesson** 「教訓」 **concern** ~「～に関わる」 **common issue** 「よくある事案」 **help oneself to ~** 「自分で自由に～を取る」 **initially** 「最初は」 **cupboard** 「食料品棚」 **refrigerator** 「冷蔵庫」 **grant permission** 「許可を与える」 **appreciate** 「喜ぶ、感謝する」 **independent learning** 「自律した学習」 **dominated by a teacher-led approach** 「教師主導のやりかたがほとんどで」

Check the Points

DL 08 CD1-12

音声を聞き、空所にあてはまる語を書き入れましょう。そして、完成した英文が本文の内容に合っていれば T (True) を、合っていなければ F (False) を選びましょう。

- Japanese students are () () () helping themselves to food in someone else's refrigerator. [T / F]
- It is a good idea for Japanese host mothers to give () () () as possible to their foreign guests. [T / F]
- Japanese and Westerners have () () () how much teachers should teach their students. [T / F]

Reading Focus //

■ 仮の主語を見抜く (It ~ that 構文)

まず形式的に it を主語として「It は～である」と述べてから、その it の内容を that に導かれる節 (= 主語 + 述語のかたまり) で述べる構文があります。

⇒ **It is wonderful that he always meets deadlines.**

(それは素晴らしい→それとは何? →彼が常に締め切りを守ること)

Practice

次の文の中で、It の表す内容は何でしょうか。

1. **It is natural that Japanese students expect a lot of care and attention from their host families.**
2. **It is nice that she is showing the Japanese tradition of *omotenashi*, or hospitality.**

Practice More

It で始まる次の英文を、日本語訳に合わせて完成させましょう。

1. あなたがついにタバコをやめた (quit smoking) のは素晴らしい。
It _____ that _____.
2. 国の人口 (the nation's population) が減っているのは深刻な問題 (a serious problem) だ。
It _____ that _____.
3. 恐竜 (dinosaurs) は 6500 万年前絶滅した (disappeared) と信じられている。
It _____ that _____.

Speak Out

日本人にアドバイスする立場で考え、左の文の続きとして相応しいものを選びましょう。選んだらテキストを見ずに、声に出して言ってみましょう。

<ul style="list-style-type: none"> • When you are home-staying in a Western country, you should • When a foreign student is staying in your home, you should 	<ul style="list-style-type: none"> • expect to look after yourself. • try not to take care of them too much. • not hesitate to help yourself to food in the refrigerator. • not be surprised if you are told to prepare your breakfast yourself.
--	--

Say What You Think

以下は、それぞれの人の感想・意見です。あなたも同じ気持ちならば、自分のこととしてそのまま言ってみましょう。違うならば、Some say ... , but I ... などの形で、自分の意見を言ってみましょう。

1. “I am surprised that Japanese style hospitality is not always welcomed.”
2. “I think I need to study more independently than I do now.”
3. “If I were given a chance to go abroad on a home-stay program, I would choose New Zealand.”

